

株 主 メ モ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (通話料無料)
[手続き書類のご請求方法]	音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479 (通話料無料) インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第1部
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.pronexus.co.jp/koukoku/6412/6412.html (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします。)

■お知らせ

- (1) 株主様の住所変更、単元未満株式等の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 配当金の口座振込のご指定につきましても、お手続きは配当金振込指定書を各口座管理機関(証券会社等)を経由してお届出いただいております。振込指定のお手続きにつきましては詳しくは各口座管理機関(証券会社等)にお問い合わせください。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。



- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。
- ご回答いただいた方の中から抽選で10名様に「戦国乙女オリジナル扇子」を進呈させていただきます。



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 6412

いいかぶ

検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

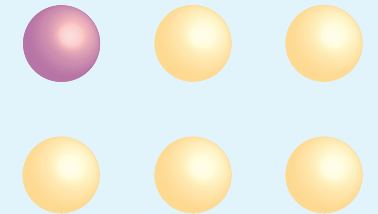
QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



※本アンケートは、株式会社エーツーメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツーメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com

HEIWA BUSINESS REPORT 2011



第43期 年次報告書

2010年4月1日～2011年3月31日

To Our Shareholders

「さらなる販売シェアの拡大を目指し、エンターテインメント性に優れた
オリジナリティあふれる遊技機の開発に力を注ぎます。」



代表取締役社長

石橋保彦

株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、このたびの東日本大震災により被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

ここに当社グループの第43期(2010年4月1日~2011年3月31日)の事業の概況と決算についてご報告いたします。

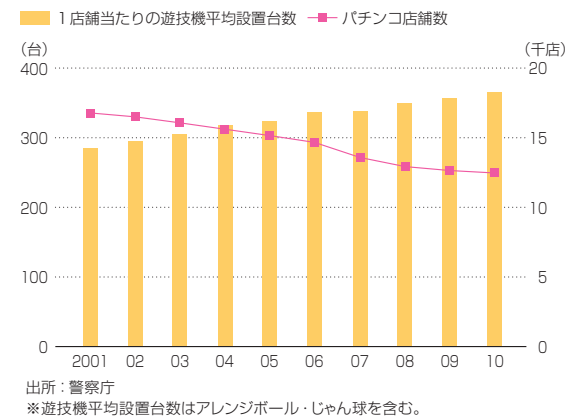
Question 1

当期の事業環境はいかがでしたか?

当社グループを取り巻く遊技機業界の動向は、パチンコホールの営業形態として低貸玉営業が定着したことや、近年低迷していたパチスロ機の人気回復に転じたこと等により、遊技参加人口の増加傾向が継続しております。

パチンコホールの経営環境をみると、低貸玉営業の実施や、パチンコ機の稼働低迷による収益性の悪化から厳しい環境が続いておりますが、2011年4月に警察庁より発表された資料によれば、2010年12月末時点での店舗数は、前年と比べ1.4%減少し12,479店舗となり減少傾向が継続しているものの、減少幅は過去5年間で最も低い数値となりました。また、遊技機設置台

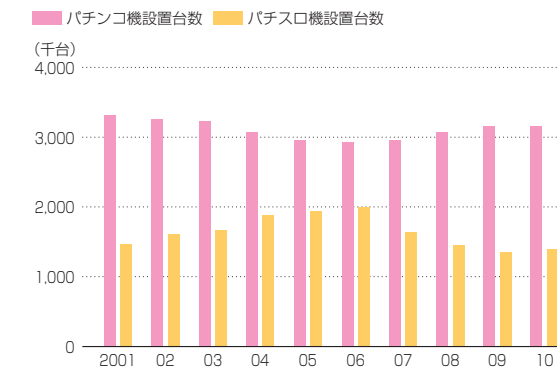
[図1] パチンコ店舗数と1店舗当たりの平均設置台数



数は、前年と比べ1.1%増加し4,554千台となり、4年振りに増加に転じました。一方、店舗数は減少しているものの、設置台数が増加したことにより、1店舗当たりの平均設置台数は、前年と比べ2.5%増加し、365台と増加傾向にあり、店舗の大型化と中小規模店の減少が継続しております。

遊技機の販売動向は、パチンコ機市場では、APEC開催に伴いパチンコホール業界団体の決定による遊技機の入替自粛が行われたことに加え、東日本大震災による影響もあり、前期に比べ販売台数は大幅に減少いたしました。他方、パチスロ機市場におきましては、パチンコ機市場と同様の減少要因があったものの、パチスロ機の人気回復を背景にパチンコホールの新台入替需要が旺盛に推移したことから、前期に比べ販売台数は増加いたしました。

[図2] 遊技機設置台数



Question 2

当期の業績についてはいかがでしょうか?

当社グループの中核事業である遊技機事業におきましては、依然として厳しい市場環境が続いており、各遊技機メーカー間の販売競争は激しさを増しております。

このような環境の中、当社グループは、販売シェアの拡大、収益性の向上を実現するために、「研究開発の強化」、「効果的なリユース設計」及び「開発・調達・生産の効率化」に取り組んでまいりました。

当社グループの業績につきましては、遊技機事業におきまして、

パチンコ機168千台、パチスロ機111千台を販売し、売上高85,880百万円、営業利益15,276百万円、経常利益24,687百万円、当期純利益20,451百万円となり、2期連続の増収増益を達成いたしました。

なお、このたびの東日本大震災により、当社の仙台営業所、郡山出張所が被災し、営業を一時中断しておりましたが、既に営業を再開しており、当期の業績への影響は軽微でありました。



性の向上に向けて、新規性・新機能を搭載したオリジナリティのある遊技機の開発を推進するとともに、多様な出玉性能、ゲーム性等を兼ね備えたエンターテインメント性の高い遊技機の開発に取り組んでまいります。

また、これらの製品を継続的に市場へ提供することにより、当社グループの製品に対する信頼性及びブランド力の向上を図り、販売シェアの拡大を目指してまいります。

次期(第44期)の配当についてですが、当社グループは、中長期的な観点から研究開発力の強化への投資、設備投資、情報化投資等を積極的に実施することにより、企業価値の増大を図るとともに、株主の皆様への利益還元を安定的、継続的に充実させていくことを利益配分に関する基本方針としており、その方針のもと、年間1株当たり50円(うち中間配当25円)を予定しております。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願いいたします。

Question 3

株主の皆様へのメッセージをお願いいたします。

次期(第44期)の業績についてですが、パチンコホールの経営環境の悪化に加え、東日本大震災による影響が依然として不透明であることから、厳しい事業環境が続くことが予想されるため、売上高78,200百万円、営業利益14,800百万円、経常利益23,900百万円、当期純利益18,100百万円を見込んでおります。

このような厳しい事業環境ではございますが、当社グループは、さらなる販売シェアの拡大、収益性の向上を実現するために、引き続き「研究開発の強化」、「効果的なリソース設計」及び「開発・調達・生産の効率化」に取り組んでまいります。

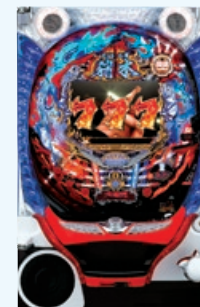
とりわけ「研究開発の強化」におきましては、より一層の商品

パチンコ機

当期におきましては、「元祖!大江戸桜吹雪2」、「ルパン三世 徳川の秘宝を追え(遊パチ)」、「アントニオ猪木という名のパチンコ機 道」等を発売し、販売台数168千台、売上高は52,106百万円となりました。

アントニオ猪木という名のパチンコ機 道

パチンコ機としてはシリーズ3作目となる本機では、巨大役物「三面闘魂シャッター」や多彩な液晶演出で、アントニオ猪木が所狭しと大活躍します。高確率モード「闘魂チャンス」中やリーチ時には、長州力や藤波辰爾等、永遠のライバル達とアツいバトルが繰り広げられ、ゲームをさらに盛り上げます。



©2010 INOKI GENOME FEDERATION.

パチスロ機

当期におきましては、「南国育ちスペシャル」、「ルパン三世 ルパン一族の秘宝」、「アントニオ猪木が元気にするパチスロ機」等を発売し、販売台数111千台、売上高は32,610百万円となりました。

アントニオ猪木が元気にするパチスロ機

「猪木を超えられるのは猪木だけ」をコンセプトにした本機は、初代「アントニオ猪木という名のパチスロ機」でも馴染みの「闘魂チャンス」をARTとして搭載。さらに「プレミアムボーナス」や「道プレミアム」等の多彩なボーナスが楽しさを演出しています。日本全国をアントニオ猪木が旅する都市演出や実写カットイン等、液晶演出にも注目です。



©2010 INOKI GENOME FEDERATION.

次期の見通し

次期(第44期)の業績につきましては、売上高78,200百万円、営業利益14,800百万円、経常利益23,900百万円、当期純利益18,100百万円と予想しております。なお、逆取得の会計処理により、通期におきまして営業外収益として負ののれん償却額8,600百万円を計上しております。

	(単位:百万円)	
	2012年3月期 (予想)	2011年3月期 (実績)
売上高	78,200	85,880
営業利益	14,800	15,276
経常利益	23,900	24,687
当期純利益	18,100	20,451

さらに進化を。 もっと楽しく。 開発者の こだわりから 生まれた 「戦国乙女2」



—2011年6月にパチンコホールに登場した「戦国乙女2」の開発を手がけたスタッフに集まっていただきました。

藤原 本機は2008年にヒットした「戦国乙女」の後継機なんです。初代の人気が高く、その後コミック化やアニメ化も実現しました。“満を持して”の発表です。

大井 この3年間の間にパチンコファンだけでなく、作品のファンもすごく増えましたよね。

森下 そのためすべてのファンに満足していただき、初めてプレイする人にも魅力を伝えられる、そんな機種にしくは

新サービス「ダーウィン」の 初搭載機としても注目して欲しいですね。

という想いは開発当初からスタッフ全員が持っていました。

野村 そういう意味ではやっぱりプレッシャーもありましたね。

—本機は新システム「ダーウィン」を初めて搭載した機種としても注目されますね。

藤原 「ダーウィン」はQRコードやパスワード機能を使って、携帯電話とパチンコ機をリンクさせることで、さまざまなサービスを受けることができます。(右図参照)
大井 開発初期の段階から、本機に搭載したいという気持ちはありましたよね。

野村 とにかく本機のキャラクターにはファンがしっかりついているので、「ダーウィン」を使ったランキングイベントや実

機の演出が変更できるカスタマイズ機能等を体感してもらうにはぴったりだったんじゃないですか。

藤原 これから発表される機種にもどんどん搭載されていく予定ですし、いい形で前例がつかれるとうれしいですね。

—もっとも苦労した部分はどこですか？

大井 役物や液晶の演出等すべてにおいて「前作からこんなに進化したんだ」ということがアピールしたかったところでした。
澤田 役物演出だと、前作では可動するだけだった“のぼり”を今回は光らせたい！という想いもありました。



プロジェクトリーダー 藤原 義弘



盤面デザイン 澤田 直也



映像企画 森下 隆之

藤原 ほかの機種のマネはしなくなかったよね。大当たりの期待感を高める連続予告演出も「ストック連続予告」を搭載する等まったく新しいものになったと思っています。

森下 「戦国乙女」は登場キャラクターが多くて、しかも全員が主役級なので、それぞれのキャラクターをどう引き立ててい

ファンを魅了する「ダーウィン」のサービス



- ① 実機のカスタマイズ等のやり込み要素
- ② ポイントに応じたさまざまなプレゼント
- ③ コミュニティでのファン同士の交流

今後も対応機種が続々登場しますので、ご期待ください。

スタッフ全員が積極的に
しっかりと意見を交わすことができる
いいチームでした。



構成管理 大井 重明



ゲージ担当 野村 大樹

くかが難しかったです。

藤原 でも、開発は確かに大変だったけど、苦労とは思わなかったですね。

野村 藤原さんはスタッフの願望を実現するために関係各所を調整するのに一番苦労したんじゃないでしょうか(笑)。

—チーム内でもめたことはなかったんですか？

野村 チーム内でもめることはなかった

よね。開発では珍しいですよ(笑)。

藤原 それはスタッフ全員が開発初期の段階から「こういうパチンコ機にしたい」と思い描いていたものが似ていたからじゃないかな。

大井 キャラクターデザインや、基本的なゲーム性等、前作の良いところを継承しつつ、いかに“進化”させるかという気持ちは全員に共通してましたよね。

野村 試打はすぐぐ行いましたよね。朝から晩まで打って、全員が思ったことをぶつけ合ったことは1回や2回じゃありませんでした。

澤田 思ったことはとことん言い合えるチームだったよね。

藤原 スタッフ全員が積極的に参加し、責任を持って開発に携わってくれたと感謝しています。

—最後にファンの皆様へ一言お願いします。

森下 「戦国」の猛々しさと「乙女」の華々しさが融合した、長く楽しめる機種になっています。

藤原 映像の美しさと演出の楽しさには自信を持っていますので、ぜひ一度パチンコホールへ足を運んでみてください。



秋葉原で行われた「戦国乙女」ファン感謝イベント。公式コスプレイヤーによるフォトセッションのほか、先行試打会や限定グッズの販売が行われ大盛況のイベントとなりました。

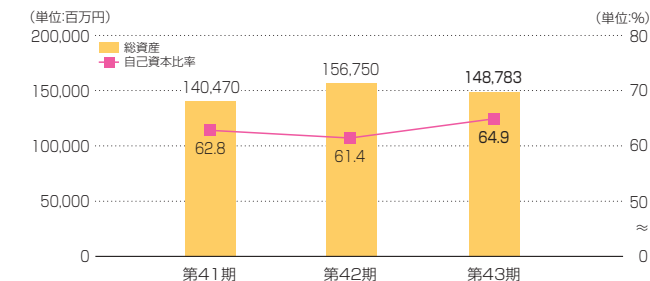
Consolidated Financial Statements

連結貸借対照表

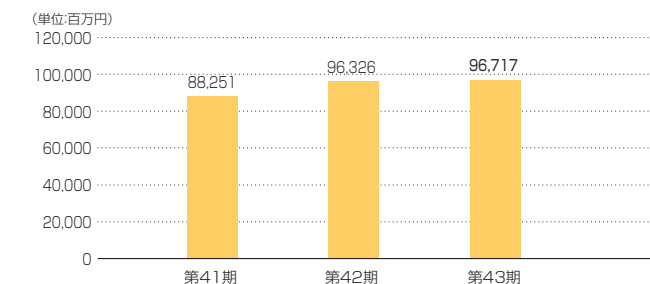
(単位:百万円)

科目	第42期 (2010年3月31日現在)	第43期 (2011年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	92,301	88,439
固定資産	64,449	60,343
有形固定資産	31,622	30,079
無形固定資産	108	85
投資その他の資産	32,717	30,178
資産合計	156,750	148,783
負債の部		
流動負債	27,621	34,918
固定負債	32,802	17,146
負債合計	60,424	52,065
純資産の部		
株主資本	95,773	96,338
資本金	16,755	16,755
資本剰余金	53,063	53,063
利益剰余金	26,899	42,410
自己株式	△945	△15,890
その他の包括利益累計額	487	275
新株予約権	65	102
純資産合計	96,326	96,717
負債純資産合計	156,750	148,783

◎ 総資産／自己資本比率



◎ 純資産



連結株主資本等変動計算書 (2010年4月1日から2011年3月31日まで)

(単位:百万円)

	株主資本				その他の 包括利益累計額	新株 予約権	純資産 合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式				
2010年3月31日 残高	16,755	53,063	26,899	△945	95,773	487	65	96,326
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△4,940		△4,940			△4,940
当期純利益			20,451		20,451			20,451
自己株式の取得				△14,945	△14,945			△14,945
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)					△211	37		△174
連結会計年度中の変動額合計	-	-	15,511	△14,945	565	△211	37	391
2011年3月31日 残高	16,755	53,063	42,410	△15,890	96,338	275	102	96,717

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	第42期 (2009年4月1日から 2010年3月31日まで)	第43期 (2010年4月1日から 2011年3月31日まで)
売上高	63,328	85,880
売上原価	38,330	46,728
売上総利益	24,997	39,151
販売費及び一般管理費	21,256	23,875
営業利益	3,740	15,276
営業外収益	10,658	9,684
営業外費用	882	273
経常利益	13,517	24,687
特別利益	15	82
特別損失	574	447
税金等調整前当期純利益	12,958	24,323
法人税等	1,011	3,871
少数株主損益調整前当期純利益	-	20,451
少数株主利益	-	-
当期純利益	11,947	20,451

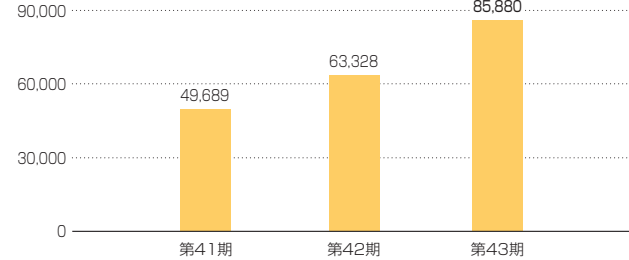
連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	第42期 (2009年4月1日から 2010年3月31日まで)	第43期 (2010年4月1日から 2011年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,769	23,405
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,280	396
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,449	△20,366
現金及び現金同等物に係る換算差額	20	△0
現金及び現金同等物の増減額	59	3,435
現金及び現金同等物の期首残高	38,911	38,971
現金及び現金同等物の期末残高	38,971	42,406

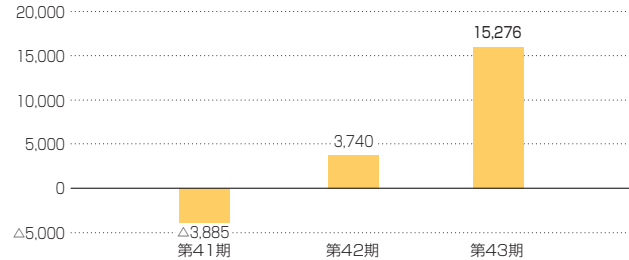
売上高

(単位:百万円)



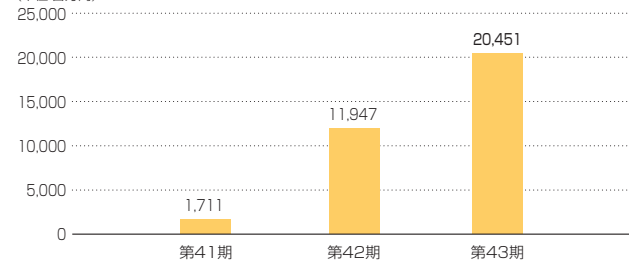
営業利益

(単位:百万円)



当期純利益

(単位:百万円)



会社概要

商号 株式会社 平和
(英文社名: Heiwa Corporation)

本社 〒110-0015
東京都台東区東上野二丁目22番9号

URL <http://www.heiwanet.co.jp/>

創業 1949(昭和24)年

設立 1960(昭和35)年

資本金 167億5,500万円

役員
(2011年6月29日現在)

代表取締役社長	石橋保彦
代表取締役副社長	嶺井勝也
専務取締役	諸見里敏啓
常務取締役	町田徹
取締役	吉野敏男
取締役	池本泰章
常勤監査役	川野廣二
監査役	佐藤武志
監査役	遠藤明哲
監査役	山田公之

事業内容 パチンコ機の開発・製造・販売
パチスロ機の開発・製造・販売

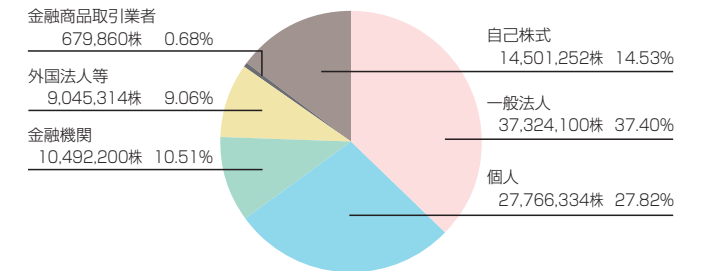
事業所 本社、工場(伊勢崎)、北海道、仙台、高崎、東京、名古屋、大阪、広島、福岡 他20営業所

取引銀行 みずほ銀行、三菱東京UFJ銀行

株式の状況

発行可能株式総数 228,903,400株
発行済株式の総数 99,809,060株
株主数 15,004名

株式の所有者別状況



株価チャート(月足)

